

東京国際空港国際線旅客ターミナルは
日本トイレ大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました



本年9月4日、東京国際空港国際線旅客ターミナルは「内閣官房 すべての女性が輝く社会づくり推進室」が実施する表彰制度において、「日本トイレ大賞」を受賞いたしました。

弊社は、開業以来ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、すべてのお客さまに安心してご利用いただける「より優しい」「より利用しやすい」旅客ターミナルづくりに取り組んでおりますが、トイレ空間の計画・整備におきましても、設計段階より有識者や障がい者の方および関係事業者を含めた「ユニバーサルデザイン検討委員会」を立ち上げ、また施工段階では、実物・実地での検証を行う「ワークショップ」を設置し、障がい者の方々にも参加頂いて使い勝手の確認、意見聴取を行いながら、全体的な計画、整備を進めて参りました。

一般トイレは、車いす使用のお客さまやスーツケースをお持ちのお客さまもご利用いただけるスペースを確保し、ゆとりのある快適な空間を実現しております。また、すべてのトイレに1~2ヶ所の多機能トイレを併設し、障がいのあるお客さま、ご高齢のお

客さま、乳幼児連れのお客さまなどの様々なお客さまにご利用いただけることはもちろん、2カ所の多機能トイレを併設している場合は、車いす使用のお客様の左右使い勝手に配慮し、便座のアプローチ、跳ね上げ式手すりの位置が左右異なる機器配置を行っております。

日常の清掃、維持管理においては品質評価システムを導入し、汚れの多い個所の分析とそれに基づく改善を行うなど、品質維持の継続的な取り組みも行ってまいります。

このような弊社の取り組みに対し評価をいただき、今般、公共・公益施設の交通・旅客施設区分において国土交通大臣賞を受賞することが出来ました。

今後も弊社といたしましては、お客様から信頼され、選ばれ続けられるよう、安全性はもちろんのこと、さらなる利便性、快適性、機能性に優れた施設とサービスを提供し、品質向上の努力を続けて参ります。

<<弊社トイレ>>



環境と人への配慮についての取り組みにつきましては、弊社 HP (<http://www.tiat.co.jp/environment/>) をご覧ください。

※1 ページ目の写真は左より弊社社長・土井勝二、女性活躍担当大臣・男女共同参画担当大臣・有村治子氏、梓・安井・PCPJ 東京国際空港国際線旅客ターミナル設計監理共同企業体所長・鶴田英二氏
